



イラク市民に銃を向ける自衛隊派兵反対！

イラク特措法を廃案に！

イラク市民は、アメリカの占領に反対

アメリカの占領支配に反対して、一般市民がデモや武器による抵抗に立ち上がり、その動きは急速に拡大しています。アメリカが現地でやっていることは、「復興支援」や「人道支援」ではなく、このような抵抗を押し込めることです。戦闘機や戦車まで動員し、弾圧と殺りくを行っています。



市民に銃を向ける米兵

自衛隊が米軍占領に加担

「復興」「人道」は大ウソです。「イラク復興支援特措法」(イラク特措法)は、イラク民衆を弾圧し殺戮する米軍に加勢するために自衛隊を送り込むためだけの法律です。これまで自衛隊海外派兵の制約であった「当事国の合意」を「米軍の合意」にすり替えました。中立性や停戦合意の条件さえかき捨て、戦地へ侵略軍の友軍として自衛隊を派兵しようとしています。イラクに非戦闘地域などありません。全土で戦争が続いているのです。

自衛隊は米軍の武器を輸送

自衛隊はイラクに行って何をやるのでしょうか。米占領軍の武器や燃料、食糧、さらには米兵やその遺体も輸送する任務に就きます。1000人もの陸上自衛隊員を派遣し、巨大な燃料供給基地を設営し、米軍の戦争を支援し続けます。軍事作戦に直結する支援だけが任務です。こんなことは過去に例がありません。さらに、銃などの軽火器だけでなく大砲などの重火器・装甲車までも持ち込み使用しようとしています。

占領軍への参加は憲法違反

これはもう、侵略軍として自衛隊を海外派兵することです。憲法第9条で否定された「交戦権」行使に一気に踏み込むというのです。正真正銘の違憲行為です。しかも、「イラク特措法」は再延長が可能な、4年間の時限立法です。自衛隊が駐留軍としてイラクとその周辺国に事実上常駐することになります。

反対署名で廃案の声をあげよう！

政府は、この法案を成立させるために、7月28日まで国会を延長しました。しかし、自民党内部でも与野党間でもまだ揺れています。イラク特措法案が成立する前に、一人一人の市民が声を上げ、この法案を廃案に追い込みましょう。

自衛隊派兵のための「イラク復興特措法案」
廃案を求める緊急署名にご協力下さい

(2003.6.22)

アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局

〒580-0023 松原市南新町 3-3-28 阪南中央病院労働組合気付

ホムペ -ジ http://www.jca.apc.org/stopUSwar/ e-mail: stopuswar@jca.apc.org

「大量破壊兵器保有」のウソでイラク戦争に加担した 小泉首相の責任を追及する

大量破壊兵器はなかった。

イラクの「大量破壊兵器保有」のウソが明らかになってきています。戦争の根拠であった「大量破壊兵器」は使用もされなかったし、フセイン政権崩壊後2ヶ月以上経っても見つかりません。大捜索をしても見つかりませんでした。現にイラク侵略を扇動してきた国防副長官自身が「口実だった」と認めました。でっち上げと情報操作であったことはもはや否定できません。イラク戦争の「正当性」が根底から揺らいでいるのです。



小泉首相は、傷つき殺された子どもたちの前でもふざけた答弁ができるのか。

小泉首相は「大量破壊兵器保有」を断定した根拠を明らかにせよ。

小泉首相は、ブッシュのイラク戦争への支持を表明しました。その根拠は、イラクの大量破壊兵器保有、それだけです。ところが小泉首相は先の党首会談でその弱点を追及され、うろたえ絶叫しました。(大量破壊兵器が見つからないことについて)「フセインは見つからなかったから、フセインはいなかったことになるのか」と。これが、一国の首相の答弁でしょうか。このような不真面目な答弁をイラクの傷ついた子どもたちの前でもできるのでしょうか。一個の独立主権国家をデマ情報に基づいて先制攻撃し国土を破壊し尽くし人々を殺しまくったという前代未聞の戦争、その戦争を支持した責任が問われているのです。

イラク特措法案はデマに基づく法案だ

イラク特措法案の冒頭は、「大量破壊兵器」の査察・破棄に関する一連の安保理決議です。そしてこの書き出し自体がウソとでっち上げであることが明らかになってきたのです。すなわち法案の要件自体が成立し得ないということ、その要件そのものに重大な疑義が出されているということです。私たちは、この法案の廃案を要求します。

小泉首相に抗議を！

抗議先

〒100-0014 千代田区永田町 2-3-1

内閣総理大臣官邸

首相官邸 Fax : 03-3581-3883

Tel : 03-3581-0101

03-5253-2111

WEB サイト投稿ページ :

<http://www.kantei.go.jp/jp/forms/goiken.html>

劣化ウランの危険性とアメリカでの反対運動

7/5ルーレン・モレさん講演会

(劣化ウランに反対する米の科学者)

アメリカの劣化ウラン弾反対運動と連帯しよう

日時 : 7月5日(土) 18:15 ~ 19:00

場所 : エルおおさか

(地下鉄谷町線・京阪「天満橋」下車徒歩5分)

主催 : グリーンアクション / 美浜・大飯・高浜原発に

反対する大阪の会 / アメリカの戦争拡大と

日本の有事法制に反対する署名事務局